

ながおかししょうがいしゃせいかつじったいちょうさ
長岡市障害者生活実態調査

ながおかし れいわ **ねん** がつ **だい** **き** ながおかししょうがいしゃきほんけいかく しょうがいふくしけいかく
長岡市では、令和**6**年3月に「第**7**期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画
だい **き** しょうがいふくしけいかく しょうがいしゃしきく すす
第**3**期障害児福祉計画」をつくり、障害者施策を進めてきましたが、来年度、
けいかく みなお おこな
計画の見直しを行います。

みなお き そしりょう ながおかししょうがいしゃせいかつじったいちょうさ
この見直しにあたり、基礎資料とするため、「長岡市障害者生活実態調査」を
おこな
行います。

ちょうさひょう げんざい う きょういく りょういく だんかい しょうがっこうだんかい しょうがいしゃ
この調査票は、現在受けている教育（療育）段階が小学校段階である障害者
てちょう じどうつうしよじゆきゅうしゃしやう も かた おく
手帳や児童通所受給者証をお持ちの方にお送りいたしました。

こんかい ちょうさ しょう こじんじょうほう ながおかしこじんじょうほう ほ ごじょうれい もと てきせい
今回の調査で使用した個人情報、長岡市個人情報保護条例に基づく適正
と あつか おこな
な取り扱いを行います。

ちょうさひょう むきめい ちょうさけつか けいかく みなお
また、調査票は無記名となっており、調査結果は、計画の見直しのためだけ
りょう ちょうさむくてきがい いもち
に利用するもので、調査目的以外に用いることはありません。

みなさま いけん ようぼう ながおかし ふくしきく い たいせつ ちょうさ
皆様のご意見やご要望を長岡市の福祉施策に生かすための大切な調査です。

かいどう にんい しょうりよく ねが
回答は任意となりますが、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

れいわ **ねん** がつ ちょう おか し
令和**7**年**9**月 長岡市

きにゆう
ご記入にあたって

- ちょうさひょう なか しょうがい ほんにん
・調査票の中の「あなた」とは、障害のあるご本人のことです。
- ほんにん きにゆう かいとう むざか ばあい かぞく かた ほんにん
・ご本人が記入もしくは回答の難しい場合は、ご家族の方などがご本人のお
かんが き も きにゆう
考えやお気持ちを記入してください。
- れいわ **ねん** がつ にちげんざい じょうきよう こた
・令和**7**年8月1日現在の状況についてお答えください。

ちょうさひょう ちやくせつきにゆう どうふう へんしんようふうとう い ゆうそう
調査票に直接記入し、同封の返信用封筒に入れて、郵送してください。

ふうとう きって ひつよう じゅうしよ なまえ か ひつよう
封筒には、切手をはる必要も、住所・名前を書く必要もありません。

かいとうきげん がつ にち ようび
■回答期限：**10**月**日**（**曜日**）まで

と あ さき
<問い合わせ先>

ながおかしふくしほけんぶ **ふくしか**
長岡市福祉保健部 **福祉課**

じゆう しょ ながおかしおおてどおり ちょうめ ばんち
住 所 〒940-8501 長岡市大手通1丁目4番地10

でん わ (0258) 39 - **2218** (直 通)
電 話

ファックス (0258) 39 - **2256**

でんし
電子メール **fukushika@city.nagaoka.lg.jp**

ちょうさこうもく およ しょうほう こた
調査項目Ⅰ及びⅡの両方について、お答えください。

ちょうさこうもく
調査項目Ⅰ

とい 問 1	あなたは何歳ですか。回答欄に記入してください。
-----------	-------------------------

() 歳 (令和 7 年 8 月 1 日現在)

とい 問 2	あなたがお持ちの障害者手帳はありますか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-----------	---

1. 身体障害者手帳総合等級 1～3 級
2. 身体障害者手帳総合等級 4～6 級
3. 療育手帳A
4. 療育手帳B
5. 精神障害者保健福祉手帳 1～3 級
6. 障害者手帳は持っていない

とい 問 3	あなたは現在、どこで暮らしていますか。 あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。
-----------	---

1. 家族などの持ち家（一戸建て、分譲マンションなど）
2. 賃貸アパート・マンション、借家
3. 入所施設
4. その他（ ）

とい 問 4	あなたは現在、だれと暮らしていますか。 あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。
-----------	---

1. 家族
2. 施設入所
3. その他（ ）

★ 次の表 をご覧になってから、後の質問にお答えください。

相談窓口	内容
障害者相談支援センター 相談支援センターふかさわ分室サンスマイル 障がい者支援センターあさひ 越路ハイム地域生活支援センター 相談支援センターふかさわ 障害者相談支援センターとちお	地域における生活の中でのさまざまな相談や福祉サービスの紹介や手続きの手伝いなどを行います。
障害者地域生活支援センター 長岡療育園	生活全般に関する相談を受け、助言や福祉サービス等の情報提供を行います。
障害者就業・生活支援センター 障害者就業・生活支援センターこしじ	就労面全般にわたる支援や日常生活上の支援を行います。
身体障害者相談員・知的障害者相談員	医療、補助具、生活、身の上、税金などの相談を受けます。
長岡市こども家庭センターこども発達相談室	子どもの成長や発達に関する不安や悩みごとの相談を行います。
子ども・青少年相談センター	不登校、学習や行動の悩み、就学、就労などの相談を行います。
長岡市学校教育課 特別支援教育係	特別支援教育、就学などの相談を行います。

問 9	すべての方にお聞きします。 あなたは上記のような相談窓口があることを知っていましたか。 どちらか1つの番号に○をつけてください。
-----	---

1. 知っていた → 問10 へ
2. 知らなかった → 問12 へ

とい 問10	問9で、「1. 知っていた」と答えた方にお聞きします。 あなたは、困ったことや悩みごとを上記のような相談窓口に相談したことがありますか。最もあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-----------	--

1. 相談したことがある → 問12へ
2. 相談したが断られた → 問12へ
3. 相談したことがない → 問11へ

とい 問11	問10で、「2. 相談したことがない」と答えた方にお聞きします。 相談したことがない理由は何ですか。 最もあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-----------	--

1. 相談窓口の場所や電話番号を知らない
2. 相談窓口の場所が遠くて行きにくい
3. 相談窓口で相談したことを周囲に知られてしまうことが心配
4. 相談窓口の職員が信用できない
5. 相談することがない
6. その他（ ）

とい 問12	すべての方にお聞きします。 あなたは、相談支援ファイル「すこやかファイル」を知っていますか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-----------	--

1. 知っているし、利用している
2. 知っているが、利用していない
3. 知らない

とい 問13	すべての方にお聞きします。 あなたはどのような在宅福祉サービス等^{どう りよう}を利用していますか。 あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。
-------------------	--

1. 短期入所^{たんきにゅうしょ}（ショートステイ）
 2. 日中一時支援^{にちゅういちじしえん}
 3. 総合支援学校放課後サポート事業^{そうごうしえんがっこうほうかご じぎょう}
 4. 放課後児童クラブ^{ほうかごじどう}
 5. ファミリー・サポート・センター^{ほうかごとう}
 6. 放課後等デイサービス
 7. 保育所等訪問支援^{ほいくじょうとうほうもんしえん}
 8. その他（^た）
 9. 在宅福祉サービス等^{ざいたくふくし どう りよう}を利用していない →問16へ
- 問14へ

とい 問14	問13で、「1、2、3、4、5、6、7、8」と答えた方にお聞きします。 あなたはどのような理由^{りゆう}で在宅福祉サービス等^{ざいたくふくし どう りよう}を利用していますか。 あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。
-------------------	---

1. 親^{おや}が働^{はたら}いていて不在^{ふざい}のため面倒^{めんどう}を見てもらうことができないから
2. 親以外^{おやいがい}に面倒^{めんどう}を見てくれる家族^{かぞく}がいないから
3. 家族^{かぞく}が体調不良^{たいちようふりょう}または高齢^{こうれい}のために面倒^{めんどう}を見てもらうことができないから
4. ときどき家族^{かぞく}に休息^{きゅうそく}をとってもらうため（介護負担^{かいごふたん}の軽減^{けいげん}）
5. 自分の障害^{じぶんしょうがい}が重く^{おも}くて介護^{かいご}してもらうのが大変^{たいへん}だから
6. 冠婚葬祭^{かんこんそうさい}などで家族^{かぞく}が不在^{ふざい}になるから
7. 集団生活^{しゅうだんせいかつ}への適応^{てきおう}や生活能力^{せいかつのうりよく}の向上^{こうじょう}のための訓練^{くんれん}を受けるため
8. その他（^た）

とい 問15	問13で、「1、2、3、4、5、6、7、8」と答えた方にお聞きします。 在宅福祉サービス等^{ざいたくふくし どう}は十分に利用^{じゅうぶん りよう}できていますか。 あてはまる番号^{ばんごう}に1つだけ○をつけてください。
-------------------	--

1. 十分に利用^{じゅうぶん りよう}できている
 2. おおむね利用^{りよう}できている
 3. 利用^{りよう}できないことがよくある
 4. ほとんど利用^{りよう}できていない
- 問18へ
- 問17へ

とい 問16	問13 で、「9. 在宅福祉サービス等^{どう りよう}を利用していない」と答えた方にお聞き します。 あなたが在宅福祉サービス等^{どう りよう}を利用していない理由は何ですか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-------------------	--

1. 在宅福祉サービス等^{どう りよう}を利用したいが、十分に利用できないから → 問17 へ
2. 在宅福祉サービス等^{どう りよう}を利用する必要がないから
(施設入所^{しせつにゆうしょ}している方も含みます) → 問18 へ
3. 在宅福祉サービス等^{どう りよう}があることを知らなかったから

とい 問17	問15 で、「3. 利用できないことがよくある」または「4. ほとんど利用で きていない」と答えた方と、問16 で、「1. 在宅福祉サービス等^{どう りよう}を利用し たいが、十分に利用できないから」と答えた方にお聞きします。 在宅福祉サービス等^{どう りよう}を利用できなくて困っていることは何ですか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-------------------	---

1. 祖父母^{そふぼ}など親以外の家族の負担が増えた
2. 家族の用事をキャンセルした
3. あなたが学校^{がっこう}を休んだ
4. 親が仕事を辞めた、または転職^{てんしよく}した
5. 親戚^{しんせき}や近く^{ちか}の友人^{ゆうじん}に負担をかけた
6. あなた一人^{ひとり}で留守番^{るすばん}をしなければならず、不安^{ふあん}だった
7. その他^た ()

とい 問18	すべての方^{かた}にお聞きします。 あなたは、日常生活^{にちじようせいかつ}の中で、次の方法^{つぎ ほうほう}で情報^{じようほう}を入手^{にゆうしゆ}していますか。 入手^{にゆうしゆ}している方は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-------------------	---

1. テレビ

2. ラジオ

3. 新聞^{しんぶん}

4. 市政^{しせい}だより

5. インターネット

6. その他^た ()

とい 問19	すべての方にお聞きします。
	あなたは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」という法律があることを知っていますか。
	どちらか1つの番号に○をつけてください。

1. 知っている

2. 知らなかった

とい 問20	すべての方にお聞きします。
	あなたは、過去3年の間に、障害を理由として差別されたと感じた場面はありましたか。
	あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※障害者差別をなくすため、①不当な差別的取扱いの禁止、②合理的配慮の提供が法律で定められています。

①不当な差別的取扱いの禁止

…障害を理由にサービスの提供等を拒否、制限すること

②合理的配慮

…障害のある人が困っているときに、支援側の負担になりすぎない範囲で配慮をすること

1. 公共施設を利用する場面
2. 交通機関を利用する場面
3. 情報の取得や利用・意思疎通の場面
4. 買い物・外食の場面
5. 医療に関する場面
6. 教育に関する場面
7. 文化活動に関する場面
8. その他（
9. 差別を感じたことはない

} → とい
問21へ

とい 問21	問20で、「1、2、3、4、5、6、7、8」と答えた方にお聞きします。 差別されたと感じたとき、どのように対応しましたか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-------------------	--

1. 相手に直接伝えた
2. 家族や友人など、身近な人に相談した
3. 公的機関に相談した
4. 誰にも言わなかった

とい 問22	問20で、「1、2、3、4、5、6、7、8」と答えた方にお聞きします。 あなたが、障害のある人への差別を解消するために必要と考えることは何ですか。最もあてはまる番号に<u>1つだけ</u>○をつけてください。
-------------------	---

1. 福祉教育を充実させる
2. 講習会や学習会などを開催する
3. 施設や設備のバリアフリー化をさらに進める
4. 福祉サービスをさらに充実させる
5. 行政機関における配慮をさらに進める
6. 民間事業所における配慮をさらに進める
7. 教育における配慮をさらに進める
8. イベントなどへ参加しやすいよう配慮する
9. 障害者雇用をさらに進める
10. その他（ ）

つづいて「調査項目Ⅱ」の回答をお願いします。

とい 問 3	すべての方にお聞きします。 あなたが現在、在籍している学校・学級に通うことになったきっかけは何 ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-----------	---

1. 利用していた施設や機関で紹介された
2. 医療機関で紹介された
3. 親の会・当事者団体で紹介された
4. 本人が希望した
5. 親が情報を集めて希望した
6. 小学校の担任の先生や特別支援教育コーディネーターなどの助言
7. 以前、在籍していた学校（学級）の勉強についていけなかった
8. 以前、在籍していた学校（学級）では人間関係がうまくいかなかった
9. 以前、在籍していた学校（学級）では教員の理解が足りなかった
10. 以前、在籍していた学校（学級）では学校と関係機関との連携がうまくいかなかった
11. 以前、在籍していた学校（学級）と同じ地域の学校で学びたかった
12. その他（ ）

とい 問 4	すべての方にお聞きします。 あなたは現在、どのようなサービスを利用していますか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-----------	--

1. 短期入所（ショートステイ）
 2. 日 中一時支援
 3. 総合支援学校放課後サポート事業
 4. ファミリー・サポート・センター
 5. 放課後等デイサービス
 6. 施設入所
 7. 移動支援
 8. 居宅介護（ホームヘルプ）
 9. その他（ ）
 10. サービスを利用していない
- } → とい 問 5 へ
 } → とい 問 6 へ

とい 問 7	すべての方にお聞きします。 あなたは今後、どのようなサービスを利用したいですか。 あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u>
-------------------	---

1. 介護をしてくれる家族などに用事があるときや、家族などの病気や休養のため、短期間、施設に入所（宿泊）したい。
2. 休日や放課後（降園後）などに介護をしてくれる家族などに用事があるときや、家族などの病気や休養のため、一時的に通所（日帰り）したい。
3. 出かけるときにホームヘルパーに付き添ってもらい、移動などを介助してもらいたい。
4. 日常生活に必要な能力を向上させたり、集団生活に適応できたりするための訓練を受けたり、地域と交流したりしたい。
5. 自宅にホームヘルパーに来てもらって、入浴や排泄などの身体介護を受けたい。
6. 家族による介護が日常的に難しいため、長期間、施設に入所して生活したい。
7. その他（ ）

とい 問 8	すべての方にお聞きします。 あなたは、日常生活における相談や支援について、普段どこに相談していますか。あてはまる番号<u>すべてに○をつけてください。</u>
-------------------	--

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 医療機関 | 7. 障害者相談支援センター |
| 2. 市役所 | 8. 小学校 |
| 3. 児童相談所 | 9. 特別支援学校（総合支援学校、聾学校など） |
| 4. 通所支援施設 | 10. 大学などの研究機関 |
| 5. 入所施設 | 11. その他（ ） |
| 6. 親の会・当事者団体 | |

とい 問 9	すべての方にお聞きします。 あなたの「個別の教育支援計画」(※1)または「個別の指導計画」(※2)は作成されていますか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。 ※1「個別の教育支援計画」とは、福祉・医療等の関係機関との連携を図り、長期にわたって教育的支援を行うための計画をいいます。 ※2「個別の指導計画」とは、児童生徒の実態に応じて長期目標や短期目標を設定し、実態に即した指導を行うために、指導内容や指導方法、評価等を明らかにした計画をいいます。
-------------------	--

1. 「個別の教育支援計画」のみが作成されている
 2. 「個別の指導計画」のみが作成されている
 3. 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」が作成されている
 4. 作成されていない → 問11へ
- } → とい 問10へ

とい 問10	問9で、「1.「個別の教育支援計画」のみが作成されている」または「2.「個別の指導計画」のみが作成されている」、「3.「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」が作成されている」と答えた方にお聞きします。 あなたの「個別の教育支援計画」または「個別の指導計画」の作成にあたり、学校とどれくらい話し合いましたか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-------------------	---

1. 年に2回以上話し合った
2. 年に1回話し合った
3. 話し合っていない

とい 問11	すべての方にお聞きします。 中学校段階の進学先として、どこを考えていますか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-------------------	---

1. 中学校の通常学級
2. 中学校の通常学級での通級による指導
3. 中学校の特別支援学級
4. 特別支援学校中学部（総合支援学校中学部、聾学校中学部など）
5. その他（ ）

とい 問12	すべての方にお聞きします。 かた き 問11 で答えた学校を進学先として 考 える理由は何ですか。 こた がっこう しんがくさき かんが り ゆ う なん あてはまる番号すべてに○をつけてください。 ばんごう
-------------------	--

1. 一人ひとりのニーズにあった教育支援が受けられるから
ひとり きょういくしえん う
2. 担任や学校のすすめにより
たん にん がっこう
3. 本人が希望しているから
ほん にん き ぼう
4. 親が希望しているから
おや き ぼう
5. 障 害に理解のある先生がいるから
しょうがい り かい せんせい
6. 仲のよい友達と 同じ学校に通えるから
なか とも おな がっこう かよ
7. 同じ学校にきょうだいが通っているから
おな がっこう かよ
8. 地域との結びつきがあるから
ち い き むす
9. 通学が便利だから
つうがく べん り
10. その他 (た)

とい 問13	すべての方にお聞きします。 かた き 進学先を選択するにあたって悩んでいることはありますか。 しんがくさき せんたく なや どちらか1つの番号に○をつけてください。 ばんごう
-------------------	---

1. ある → 問14 へ
とい
2. ない → 問16 へ
とい

とい 問14	問13で、「1. ある」と答えた方にお聞きします。 こた かた き あなたが悩んでいる理由は何ですか。 なや り ゆ う なん あてはまる番号すべてに○をつけてください。 ばんごう
-------------------	--

1. 進路が決まっていないから
しんろ き
2. 自分の適性がわからないから
じぶん てきせい
3. 希望する進路先についての情報がないから
き ぼう しんろさき じょうほう
4. 相談にのってくれる人がいないから
そうだん ひと
5. 勉強についていけるかどうか心配だから
べんきょう しんばい
6. 進路について家族と意見が合わないから
しんろ かぞく いけん あ
7. 進路について先生と意見が合わないから
しんろ せんせい いけん あ
8. 進路先へ通う手段がないから
しんろさき かよ しゅだん
9. その他 (た)

とい 問15	問13で、「1. ある」と答えた方にお聞きします。 学校でもっと指導してほしかった（これから指導してほしい）こと、または学校に対する要望は何ですか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-------------------	---

1. 上級学校※1訪問などの体験学習
2. ホームルーム活動などでの自らの生き方に関する進路学習
3. 学校の先生の助言
4. 進路指導に詳しい外部専門家の巡回相談
5. 希望している進路先に関する情報の収集
6. 学校の先生の進路指導についての理解
7. その他（ ）

※1 上級学校

高校、高等専門学校、専門学校など、中学校を卒業した後に進学する学校のこと。

とい 問16	問13で、「2. ない」と答えた方にお聞きします。 あなたが悩んでいない理由は何ですか。 あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
-------------------	--

1. 進路が決まっているから
 2. 自分の適性がわかっているから
 3. 学校が進路先を決めてくれると思うから
 4. 家族が進路先を決めてくれると思うから
 5. 進路を決めるまでにまだ時間があるから
 6. その他（ ）
- } → 問17へ

問17	問16 で、「1. 進路が決まっているから」または「2. 自分の適性がわかっているから」と答えた方にお聞きします。 進学先が決まったり、自分の適性がわかったきっかけは何ですか。 あてはまる番号すべてに○をつけてください。
------------	---

1. 上級学校訪問などの体験学習
2. 学校の先生の助言
3. 家族の助言
4. 卒業生の体験談と助言
5. 進路相談に詳しい外部専門家の巡回相談
6. ホームルーム活動などでの自らの生き方に関する進路学習
7. その他（ ）

○ 障害者施策に関して、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。